

分科会の概要・事前準備

1. 「A1－高短連携」分科会

高校－短大連携事業に関する全国実態調査では、連携事業のほとんどが「模擬授業」や「公開講座」など短大から高校への一方通行的な事業で、短大生と高校生との交流会などは2%に過ぎませんでした。そこで、短大生が母校を訪問し高校生との交流を深め、さらに進路選択の幅を広げ、キャリア形成を支援する高短双方の目的に沿う事業として「短大生による母校訪問キャラバン隊」を実施することとしました。本研修会では本事業実施における問題点や改善などについて検討します。準備は特に必要ありません。

2. 「A2－単位互換」分科会

G P補助終了後も莫大な費用を伴わず、連携短大で継続して取り組めるという視点で、連携短期大学間の単位互換制度を確立します。これは、科目等履修制度を利用した高校生の入学前取得単位を連携短大の単位として認めていくことを可能とし、高・短連携事業の一環として高校生のキャリア支援や接続教育の役割を果たすことができます。研修会では単位互換制度の確立に必要な協定書や運営のための覚書、今後の予定など実施に向けた内容を検討します。準備は特に必要ありませんが、「学生便覧」「シラバス」などを持参していただくとありがたいです。

3. 「B1－到達目標」分科会

本分科会では、以下の3つのテーマに沿って話題を提供させていただきます。①短大における学習プロセスや学習モードの特徴と、教育効果を明らかにする「学生調査」の設計と実施を行う。②調査結果を素に、短期大学固有の教育機能に関する考察を深めて、学生の実態や学習ニーズに即した教育改善の方途を探る。③調査結果を関係者に広く公開し、短大全体、または、個別の短大の教育の到達目標を設定するための基礎資料として活用する。参加者の方々に、ご準備いただくものは特にございません。

4. 「B2－初年次・教養教育」分科会

短大における初年次教育と教養教育について考えます。そこで、皆様一人ひとりが所属する短大で実践している、初年次及び教養教育についての報告をしていただきます。その際、学科の分野等において、取組に温度差があると思いますので、特に重要とみなしている点と改善を必要とする点、少なくともこの二点の具体例のご準備をお願いします。四年制とは違う、短大の初年次・教養教育の開発に向けて資する機会にしたいと思います。

5. 「C－FD/SD」分科会

まず、①各短大のFD/SDに関する現状と成果、課題について意見交換をし、短大教育の質保証のためのFD/SDの活性化、およびPDCAサイクルの構築について検討します。また、②今後、短大コンソーシアム九州が取り組むFD/SD研修会について、いくつかの具体的な案を作成していきます。以上の内容について、ご意見をお尋ねすると思いますので、よろしくお願いいたします。

6. 「D－社会人基礎」分科会

①社会人基礎力に欠けると言われる現代の学生の現状を話し合い、原因を探ります。②社会人基礎とは何か？学生が身につけるべき基礎力とは何かを、昨年のアンケート結果を基に検討します。③各短大でどのような場、授業で基礎力の涵養が図れるか、意見交換します。(キャリア教育や就職支援、学園生活指導で特徴的な取組があればお聞かせ願います。)

7. 「E1・E2－地域人材・職業キャリア」分科会

地域と短大との連携について、具体的には、地域で働く卒業生への支援策や地域事業所との協働策をコンソーシアムとして今後短大同士でどのような協力ができるのかについて検討します。そこで、まず各校の情報の共有化(各校の取り組みの事例の報告など)を行い、次年度以降についての具体的な内容(卒業生へのリカレント教育など)の検討を行います。

(注) 9/5以降に各短大の推進委員の先生を通じ、卒業生へのリカレント教育の具体的な内容に関する卒業生からの意見を提示しますので、ご一読願います。

以上